

白内障と緑内障



失明してから
では遅い！



白内障

「白内障」とは水晶体が濁ってしまう病気です。

白内障は「目がかすんで見える」「二重、三重にぼやけて見える」「いろいろ調節しても眼鏡が合わない」など視力低下の症状がみられます。

<主な原因>

★老人性白内障

(白内障の中で一番多く、60歳代66～83%、70歳代84～97%、80歳以上では100%の人に白内障による視力低下が認められます。(加齢による老化現象ともいえます)

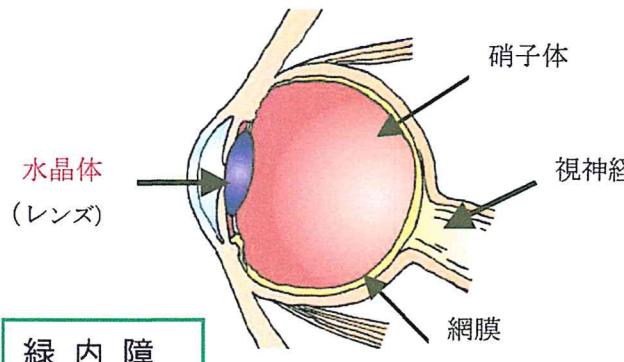
★糖尿病・栄養失調・アトピー性皮膚炎・目の外傷などからくる白内障は若い内からでも発症します。(血糖や酸化ヘモグロビン値が高いほど発症)

★目の組織に炎症が起きるブドウ膜炎が原因で白内障を併発します。



★ステロイド剤・抗精神病薬・放射線・赤外線照射などの副作用からくる白内障。

★生まれつき水晶体に濁りがある、先天性白内障等

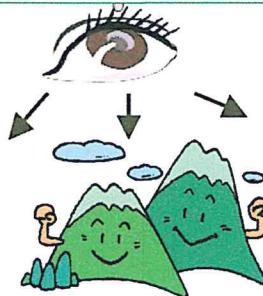


「緑内障」とは視神経が障害され、視野が狭くなったり、部分的に見えなくなったりする病気です。

視野異常症状が起きます。

自覚症状がないため、検診などで早期の発見を心がけましょう。(40歳以上の日本人のうち、緑内障患者は20人に1人、失明原因の上位となっています。)

時々片目で視野チェックをしてみましょう。



「視野検査」とは

「視野」とは、まっすぐ前方を見て、上下左右前方、どの位の範囲が見えているかを調べる検査です。

<正常の人(片目)>

上方に60度、下方に75度、鼻側に60度、耳側に100度の視野があるといわれています。

「眼圧」とその正常範囲

「眼圧」とは眼球に一定の張りを持たせ形を保つ圧力です。(ボールに例えると、空気の入り具合)

視神経が圧迫され、障害を起こす事のない正常範囲には個人差があり目安は10～21 mmHgとされています。日本人は正常眼圧緑内障の人が多いことが最近明らかにされています。

<白内障・緑内障の治療法>

●白内障は軽度のうちは点眼薬や内服薬で進行予防出来ますが、進行してしまった場合は手術以外の視力回復手段はありません。

(白内障の手術は比較的簡単で短時間で終わります)

●緑内障はまず眼圧を下降させ、視野障害が今以上に進行しないようにする治療を行います。
点眼薬・内服薬などの薬物療法
レーザー治療・手術治療などがあります。

ビタミンC・ビタミンB2・ビタミンEなどは眼に良い食品と言われています。



<予防法>

- 規則正しい生活とバランスのよい食事を心がけましょう。
- 定期的に検診を受けて、自己管理をしましょう。
- 早期発見、早期治療が大切です。